

各 位

会 社 名 代表者名 株式会社A. Cホールディングス 代表取締役社長 長谷川 武司

(JASDAQ コード 1783)

問合せ先

取締役情報管理責任者 竹澤 清 (TEL 03-5473-7722)

持分法による投資損失(連結)の発生及び平成25年9月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成25年9月期第4四半期(平成25年7月1日~平成25年9月30日)において、持分法による投資損失が発生いたしました。その概要をお知らせするとともに、平成25年5月9日付当社「持分法による投資損失(連結)の減少及び平成25年9月期第2四半期累計期間(連結・個別)、通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1. 平成 25 年 9 月期第 4 四半期 (連結) 持分法による投資損失内容及びその金額について 当社は平成 25 年 9 月期第 3 四半期累計期間において持分法による投資損失 4 百万円を計上しており ましたが、関係会社(株式会社東京衡機)の平成 26 年 2 月期第 2 四半期決算発表を受け、当社平成 25 年 9 月期第 4 四半期において持分法による投資損失が 48 百万円発生し、52 百万円となりました。
- 2. 平成25年9月期通期 連結業績予想の修正等
  - (1) 平成 25 年 9 月期通期 (平成 24 年 10 月 1 日~平成 25 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当 期 純利益	1株当り 当期純利益
前回発表予想	3, 335	△129	△105	△40	△0円99銭
今回発表予想	3, 143	△143	△166	△81	△2円02銭
増減額	△192	△14	△61	△41	
増減率(%)	△5. 75				
(ご参考) 平成 24 年 9 月期実績	3, 284	△290	△491	△611	△15円11銭

## (2) 修正理由

売上高は、建設事業において一部工事の進捗遅れや変更工事の受注遅れの影響で1億77百万円減少、ゴルフ・リゾート事業において福島空港GOLF CLUBの売却などにより17百万円減少した結果、前回予想の33億35百万円に対して1億92百万円減少し、31億43百万円となる見込みです。

営業利益は、売上高の減少があった一方、全体的な経費の削減 19 百万円、及び建設事業において工事原価率の減少により完成工事原価が 1 億 70 百万円減少したこと等を加味して修正した結果、前回予想の $\triangle$ 1 億 29 百万円に対して 14 百万円減少し、 $\triangle$ 1 億 43 百万円となる見込みです。

経常利益は、上記理由に加え、今回増加した持分法による投資損失(前項1. 平成25年9月期第

4 四半期(連結)持分法による投資損失内容及びその金額について 参照)額を加味して修正した結果、前回予想の△1億5百万円に対して61百万円減少し、△1億66百万円となる見込みです。

当期純利益は、上記理由に加え、ゴルフ・リゾート事業において受取保険金 12 百万円が発生し、税金等を加味して修正した結果、前回予想の $\triangle$ 40 百万円に対して 41 百万円減少し、 $\triangle$ 81 百万円となる見込みです。

## 3. 平成25年9月期通期 個別業績予想の修正等

(1) 平成 25 年 9 月期通期 (平成 24 年 10 月 1 日~平成 25 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

				当 期	1株当り
	売上高	営業利益	経常利益		
	) L   114	11 /1C   7 mil.	/177114 1 4 71117	純利益	当期純利益
前回発表予想	714	△143	△178	△102	△2円54銭
今回発表予想	719	△183	△251	△173	△4円30銭
増減額	5	△40	△73	△71	
増減率(%)	0.70				
(ご参考) 平成 24 年 9 月期実績	338	△282	△257	△399	△9円88銭

## (2) 修正理由

売上高は、ほぼ計画通りに推移し、7億19百万円となる見込みです。

営業利益は、不動産事業売上原価が 5 百万円、施設賃貸原価が 4 百万円増加するなど売上原価が 9 百万円増加し、また、租税公課が 13 百万円、支払手数料が 7 百万円、株式取扱手数料が 5 百万円増加するなど販売費及び一般管理費が 36 百万円増加した結果、前回予想の $\triangle$ 1 億 43 百万円に対して 40 百万円減少し、 $\triangle$ 1 億 83 百万円となる見込みです。

経常利益は、上記理由に加え、営業外費用として貸倒引当金繰入額 35 百万円の発生などを加味して修正した結果、前回予想の $\triangle$ 1 億 78 百万円に対し 73 百万円減少し、 $\triangle$ 2 億 51 百万円となる見込みです。

当期純利益は、上記理由に加え税金等を加味して修正した結果、前回予想の△1 億 2 百万円に対して 71 百万円減少し、△1 億 73 百万円となる見込みです。

(注) 今回の業積予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業積につきましてはこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上